

令和8年度

県政世論調査報告書

山口県

<目次>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査項目	2
3. 調査設計	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2
6. 標本抽出方法	3
II. 調査結果	4
1. 県民の生活実感	5
1－1. くらし向きの変化	5
1－2. くらしの満足度	6
1－3. 今後の生活の見通し	7
2. 政治や経済への関心	8
2－1. 国の政治・経済への関心	8
2－2. 県の政治・経済への関心	9
2－3. 市町の政治・経済への関心	9
3. 県が行う広報の認知等	10
3－1. 県の仕事の認知媒体	10
3－2. 「ふれあい山口」の閲読状況	11
3－3. 「ふれあい山口」の内容に対する評価	12
3－4. 各テレビ番組・各ラジオ番組の視聴（聴取）状況及び印象	14
3－5. 県からの広報展開の認知度	18
4. 県の取組に対する実感	19
4－1. 山口県の住みよさ	19
4－2. 今後の山口県での居留意向	19
4－3. 県の取組に対する実感	20
4－4. 今後の県づくりにおいて、特に実現すべきだと思う分野	22
5. 防災・減災対策について	23
5－1. 防災活動参加経験	23
5－2. 参加した防災活動の種類	23
6. デジタル化について	24
6－1. インターネットの活用状況	24
6－2. 申請・届出等の行政手続のオンライン活用状況	25
6－3. オンラインでの手続の満足度	25
6－4. オンライン手続の促進に必要なこと	26
6－5. デジタル技術の活用で便利になったと思う分野	27

6-6. デジタル化が進むために必要な取組	28
7. 消費生活に関することについて	29
7-1. 被害を受けた時の相談相手	29
8. 犯罪被害者等支援について	30
8-1. 犯罪被害に遭った場合の相談相手	30
8-2. 「二次的被害」の認知状況	31
8-3. 犯罪被害者等支援に関するものの認知状況	31
9. 人権について	32
9-1. 「人権問題」への関心	32
9-2. 人権問題に関する知識や情報の収集媒体	33
10. 食の安心・安全について	34
10-1. 食品に対する不安	34
10-2. 食品について不安なこと	35
10-3. 県民が安全で安心な食生活を送るために必要な取組	36
11. 生物多様性について	38
11-1. 「生物多様性」の認知状況	38
11-2. 生物多様性を守るために必要な取組	39
12. 北朝鮮による拉致問題について	40
12-1. 「拉致問題」についての関心	40
12-2. 「拉致問題」の解決のために必要な取組	40
12-3. 「拉致問題」の解決に向けての今後の協力	41
13. 食育について	42
13-1. 「食育」についての関心	42
13-2. 家族と一緒に食事をする頻度	42
14. ギャンブル等依存症支援について	43
14-1. 「ギャンブル依存症」の認知度	43
14-2. ギャンブルで困りごとを抱えた際の相談先	44
14-3. 県の精神保健福祉センターや保健所が、ギャンブル等の相談窓口であることの認知度	44
15. 薬局・薬剤師や医薬品に関する取組について	45
15-1. 薬局・薬剤師や医薬品に関する取組の認知度	45
15-2. 健康に関して、薬以外のことで相談したい内容	47
16. 多文化共生について	48
16-1. 「多文化共生」「やさしい日本語」の認知度	48
16-2. 多文化共生の推進	49
16-3. 日常生活で外国人と関わることについて	49
17. 運動・スポーツの実施状況について	50
17-1. 「運動・スポーツ」の実施頻度	50
17-2. 行った「運動・スポーツ」	51
17-3. 「運動・スポーツ」を行わなかった理由	52
17-4. 「e スポーツ」の実施頻度	53

18. 地産・地消の推進について	54
18-1. 「地産・地消」の認知状況	54
19. 「やまぐち森林づくり県民税」について	55
19-1. 「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況	55
19-2. 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容	56
20. 山口きらら博記念公園について	57
20-1. 山口きらら博記念公園の利用状況	57
Ⅲ. 資料 使用した調査票	58